

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	AI 画像解析技術を用いた病理診断支援システム開発への基盤構築
	研究対象者	2015 年 1 月から 2024 年 9 月までの間に、神奈川県立がんセンターで甲状腺癌に対して組織採取（生検・手術等）を受けられた方が対象となります。
	研究目的	この研究は、悪性腫瘍に対する病理診断をより正確かつ効率的に行うための AI（人工知能）システムの開発基盤を作ることを目的としています。病理標本の画像を AI に学習させることで、癌の特徴的なパターンを認識できるようにします。これにより将来的に病理医の診断をサポートし、患者さんにより質の高い医療を提供することを目指しています。
	研究方法	患者さんのから摘出された病理標本をデジタル化し、その画像データを分析します。また、すでに行われている遺伝子検査や免疫染色の結果も合わせて解析します。これらのデータを AI に学習させ、癌の特徴や遺伝子変異との関連を調べます。
	個人情報保護	研究で使用する患者さんの情報は、氏名や住所などの個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。この番号と患者さんを結びつける対応表は、鍵のかかる場所で厳重に保管し、研究に直接関わる研究者のみが取り扱います。取り扱うデータにはパスワードロック、対応表等は鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西暦 2024 年 11 月 5 日～西暦 2029 年 3 月 31 日
	利用又は提供 を開始する時期	<input checked="" type="checkbox"/> 総長が研究実施を許可した日 <input type="checkbox"/> 西暦 年 月 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試料・ 情報の項目(チェ ック[X]が入った 項目を利用しま す)	<input checked="" type="checkbox"/> 試料:	<input type="checkbox"/> 血漿、 <input type="checkbox"/> 血清、 <input type="checkbox"/> 全血、 <input type="checkbox"/> 末梢血から抽出した DNA、 <input checked="" type="checkbox"/> 病理検体(具体的に記載: 標本からの病理組織所見)、 <input type="checkbox"/> 尿、 <input type="checkbox"/> 糞便、 <input type="checkbox"/> 唾液、 <input type="checkbox"/> 胸水、 <input type="checkbox"/> 腹水、 <input type="checkbox"/> 脳脊髄液、 <input type="checkbox"/> 毛髪、 <input type="checkbox"/> その他(具体的に記載: _____)
	<input checked="" type="checkbox"/> 情報:	<input checked="" type="checkbox"/> 診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、 <input checked="" type="checkbox"/> 年齢、 <input type="checkbox"/> 生年月日、 <input checked="" type="checkbox"/> 性別、 <input type="checkbox"/> 既往歴、 <input type="checkbox"/> 併存疾患、 <input type="checkbox"/> 外来日・入院日・退院日、 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査値、 <input type="checkbox"/> 放射線 診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床所見・経過（予後追跡データ を含む）、 <input type="checkbox"/> ゲノムデータ、 <input type="checkbox"/> 看護記録、 <input type="checkbox"/> その他(具体的に記載: _____)
試料・情報を利用 する者の範囲	当センター研 究責任者	所属・氏名 病理診断科・大久保陽一郎
	共同研究機関お よび責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情 報公開に関する窓口	神奈川県立がんセンター・病理診断科・大久保陽一郎・045(520)2222(代) 利用停止のお申し出は 2025 年 3 月 31 日までにお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場 合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります	